



## さあ、答え合わせをしよう！

Vol.79 お宝ベスト5～北海道(ほっかいどう)

※ココを見てね! ▶北海道～「お宝ベスト5」

1. 著保内野遺跡(ちよぼないのいせき)から出土(しゅつど)した「中空土偶(どぐう)」は、国宝(こくほう)に指定されています。その特徴(とくちょう)は、次のうち どれかな？

正解:③中が空洞(くうどう)に作られている

「土偶(どぐう)」は縄文時代(じょうもんじだい)に作られていた土製(どせい)の人形(にんぎょう)で、そのほとんどは女性(じょせい)をモチーフにしているとされています。生命(いのち)を育(はぐく)むという女性(じょせい)の神秘(しんぴ)な力(ちから)にあやかりたかったのかもしれませんがね。食べ物に困(こま)らないよう、赤ちゃんが無事(ぶじ)に生まれますよう、…といった生活(せいかつ)の願(ねが)い事(こと)もしたし、祭(まつり)りの道具(どうぐ)としても、使(つか)われたと考えられています。これに対し、よく同じだとまちがえられる「埴輪(はにわ)」は、古墳時代(こふんじだい)に作られたもので、こちらは古墳(こふん)の上に並(なら)べるために量産(りょうさん)された置物(おきもの)です。著保内野遺跡(ちよぼないのいせき)の土偶(どぐう)は全国でも 2 番目に大きいもので、中が空洞(くうどう)になっています。これを作るには、高い技術(ぎじゅつ)が必要(ひつよう)だったことから国宝(こくほう)に指定されました。函館市縄文文化交流センターに常設展示(じょうせつてんじ)されているので、見に行(い)ってね!

2. 上白滝8遺跡(かみしらたき8いせき)から出土(しゅつど)した「くっついた石器(せっき)」は黒曜石(こくようせき)で、どこで採(と)れたものかまでわかっています。産地(さんち)はどこかな？

正解:②花十勝(はなとちかち)

「黒曜石(こくようせき)」は、火山(ふんか)の噴火(ふんか)によって作られたガラス質(しつ)の硬(かた)い石(いし)です。天然(てんねん)のガラスであるため、割(わ)れたり欠(か)けたりしやすく、破片(はへん)はとても鋭(すど)いので注意(ちゅうい)が必要(ひつよう)です。そうした性質(せいしつ)を利用(りよう)し、大昔(おおいふし)から世界各地(かくち)で石器(せっき)の原材料(げんざいりよう)として使(つか)われています。日本列島(れっとう)は火山列島(れっとう)といわれるほど火山(ふんか)が多いので、黒曜石(こくようせき)がとれるところはたくさんありますが、石器(せっき)が作れるほど質(しつ)の良い黒曜石(こくようせき)がとれる産地(さんち)は限(かぎ)られています。

※「調べてみよう～もっと知りたい旧石器時代(きゅうせっきじだい)」も読んでみてね!

3. 有珠モシリ遺跡(うすもしりいせき)で出土(しゅつど)した「イモガイでつくった腕輪(うでわ)」は、その作り方から、ある地域(ちいき)との交流(こうりゅう)があったことがわかります。今のどこかな？

正解:③九州地方(きゅうしゅうちほう)

北海道伊達市(だてし)にある有珠モシリ遺跡(うすもしりいせき)は、面積1万平方メートルほどの小島(こじま)全体が縄文時代(じょうもんじだい)の終わりごろから続縄文時代(ぞくじょうもんじだい ※北海道の独特の呼び名)にかけての貝塚(かいづか)の遺跡(いせき)で、墓地(ぼち)でもあります。墓(はか)は2ヶ所あり、琉球諸島(りゅうきゅうしょとう)にいるダイミョウイモという種類のイモガイでつくられています。また、作り方は 佐賀県(さがけん)の宮の本遺跡(みやのもといせき)で出土(しゅつど)したものと似(に)ています。現代(げんだい)の九州(きゅうしゅう)から、日本海をとおって、はるばる北海道(ほっかいどう)まで運(は)れたこの腕輪(うでわ)の存在(そんざい)が、大昔(おおいふし)の北海道で弥生文化(やよいぶんか)との交流(こうりゅう)があったことを教えてください。